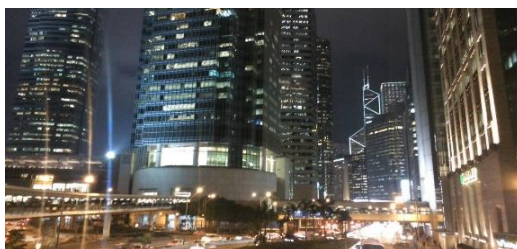


香港城市大学 人文社会科学学院

グローバル都市として名高い、香港特別行政区の市街地にキャンパスをもつ1984年創立の公立大学。国際性に優れた大学として、アジア圏のみならず、世界的に定評のある大学で、英タイムズ・ハイアー・エデュケーションによる「2019年度版アジア大学ランキング」では15位に入る（日本では東京大学が8位、京都大学が11位）。

人文社会科学学院では、語学や社会学といった伝統的な学問の他に、公共・社会共生学やメディアコミュニケーション学といった新しい視座による学科も併設されている。



... 留学した先輩達の体験談から ...

学校生活①（授業について）

- 英語で受講。ミーティングやディスカッションをする機会が多い。特に「書く」力と「話す」力を伸ばしておこう。
- テスト勉強よりも授業中に教授の話をしっかり理解することの方が重要。
- 中国語や広東語の勉強道具は日本国内から要持参。なかなか日本人向けの教材が手に入らない...

日常生活

- 大学は都会的な雰囲気。高級ショッピングモールに併設していたり、九龍半島のほぼ中心部という立地も便利で◎。
- 寮では学生によって、イベントやワークショップが頻繁に開かれていて、交流が多く、友人を作りやすい環境となっている。

学校生活②（学風・学生について）

- キャンパス内も常に活気があり、ソサエティー（日本のサークルのようなもの）やイベントの勧誘などが頻繁で賑やかな印象。
- 国際色豊かで授業でもグループを組めば、3人に一人が留学生になるほど。香港の学生たちもオープンで友好的な学生が多い。

アドバイス！ 香港はとにかく家賃が高いため、何が何でも学生寮に住むぞ、という気持ちで申請をしたほうがよいと思います。というのも、僕は一学期目は寮へ申し込みをしていたのですが、抽選で落ちてしまい、自分で住む場所を探さなくてはならず、かなり大変でした。探すのも契約するのも英語を使うので、細かいニュアンスを伝えるのが難しいうえに、香港城市大学も住む場所を探したり、ルームメイトのマッチングを行うサービスを提供してくれているのですが、反応が遅く、ほぼ自力で探すことになりました。

どうしてここを選んだの？

●学部間協定校だったからです。情報コミュニケーション学部で学んだ内容をさらに深めることが出来る為、ただの語学学習に留まらず、しっかりと勉強できるのは大きな理由です。学部間の協定プログラムということで、留学先で取得した単位を、明治大学で単位認定の申請が出来るため、4年で卒業することが出来るというのも魅力的でした。また、純粋に香港という地域に興味があったからです。西洋とアジアの文化が入り混じった特別な場所で、アジア経済の中心地でもある香港という都市を自分の目で見てみたかったことや、カンフー映画のロケ地にも行ってみたいと思ったので香港城市大学を選びました。

留学を考えている人へ

迷っているなら、チャレンジしたほうが良いと思います。お金や就活の問題など、やらなくていい理由がたくさん挙げることが出来ますが、時間は待ってくれません。自分のゴールを見据えてチャレンジするなら、それは決して無駄にはならないし、大きな成長に繋がります。たくさんの失敗や苦難にぶつかることとなりますが、チャレンジした分、得られるものも、喜びも大きいです。留学をすると決意したら、自分なりの目標をもって、なおかつ「楽しく」頑張りたいと思います。

（2014年度留学：男性）